

# 回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 40 号	平成 25 年 8 月 30 日	伊予市役所	総務部 庁舎建設課
題 目 (テーマ) : 郵便局跡地に新市庁舎が建った場合の津波の問題について			
提 案 内 容 (要 旨)			
<p>新市庁舎、文化ホール、図書館の建設場所に関するアンケートが配られました。その中で気になる点がありました。それは、新市庁舎が現郵便局、中央公民館敷地に建設された場合の津波の問題です。海拔が津波の高さの予想以上であれば浸水しないというように受け取れます。郵便局跡地ならば浸水しないということのようですが、果たして本当でしょうか。津波の高さと波打ち際が同じならそうでしょうが、遡上高は津波の高さを超えることがあります。現在地建替えの場合、津波の高さを最大限に見積もった場合、1 m の浸水を覚悟する必要があります。この場合は、津波が遡上して国道 5 6 号線まで到達すると予想されます。新市庁舎は津波が通過する地点になります。</p> <p>ところが、郵便局跡地の場合はどうでしょうか。背後に JR の線路があり、それが土手になっています。あくまで素人の判断ですが、市庁舎に向かった津波は遡上して土手に当たって跳ね返り、海面の上昇を受けて水位が急上昇するのではないのでしょうか。専門家の意見を聴きたいところです。もし私の想像通りだとすれば、今回のアンケートの前提となる資料は、市民をミスリードすることになるのではないのでしょうか。慎重にご検討ください。</p>			
回 答 内 容			
<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>今回行いました市民アンケートの津波浸水深の表記につきましては、平成 2 5 年 6 月 1 0 日、愛媛県から発表されております地震被害想定調査結果 (第 1 次報告) に基づく、伊予市の津波浸水想定を参考にいたしました。この浸水想定は、津波の遡上によるものであり、これによりますと、現市庁舎敷地付近では、最高 1 m の浸水が想定されておりますが、浸水域は国道 5 6 号までは達しておりません。</p> <p>次に、郵便局敷地につきましては、最高 1 m の浸水が、また、中央公民館の一部につきましては、最高 3 0 cm の浸水が想定されておりますが、建物を建設する場所は中央公民館敷地側を計画しており、津波の浸水深が少ないことから、地上げを施すことにより、影響はほとんどないと考えております。</p> <p>ご質問の中央公民館裏側の JR 土手部付近までは津波が遡上しない想定となっておりますので、津波の跳ね返りによる海面上昇はないものと考えております。</p> <p>なお、詳細につきましては、県のホームページ <a href="http://www.pref.ehime.jp/bosai/higaisoutei/higaisoutei24.html">http://www.pref.ehime.jp/bosai/higaisoutei/higaisoutei24.html</a> にも掲載されて</p>			

おります。さらに、上記サイト内の「津波アニメーション」、「詳細版各市町浸水状況2Dアニメーション」では、津波の到達状況がアニメーション掲載されておりますので、こちらもご参照くださいますようお願い申し上げます。

今後とも、市政につきまして、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。